

原子力システム研究開発事業
(環境負荷低減技術)
事後評価総合所見

評価の概要	
研究課題名：マイナーアクチニド/希土類分離性能の高い乾式処理プロセスの開発 研究代表者（研究機関名）：村上 毅（一般財団法人電力中央研究所） 再委託先研究責任者（研究機関名）：野平 俊之（京都大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：小藤 博英（日本原子力研究開発機構） 研究期間及び研究経費：平成25年度～平成26年度（2年計画）40百万円	
項 目	要 約
1. 研究の概要	分離・変換シナリオにおいて求められる多種多様な燃料からアクチニドを回収する手法の確立を目指し、従来の乾式法よりも高いPu・マイナーアクチニド/希土類核分裂生成物分離性能を持つ乾式処理プロセスを開発するための研究を行った。
2. 総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center; width: 30px;">A</div> <div> <p>従来の乾式法よりも高いPu・マイナーアクチニド/希土類核分裂生成物分離性能を持つ乾式処理システムを目指した熔融液体金属電極の新たな可能性を見出し、優れた成果を得た。MAの高い分離性能での処理の可能性を明らかとし、核変換システムの高効率化が期待される。</p> <p>S) 極めて優れた成果が挙げられている A) 優れた成果が挙げられている B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんど挙げられていない</p> </div> </div>